

.....
こんばんは、アミールです。ライブ配信出来ていると良いのですが…。ライブで映っていると思います
が…。皆さん、信じてくれないかもしれないですが、私はこの45分ほど一人でライブをやっていたので
す。早い話、ライブではなかったのですが。45分間私は一人でしゃべっていたのです(笑)でも、またこ
うしてライブが出来ることを嬉しく思います。私がこれから伝える事に、人々が耳を傾けてくださるよ
うに願います。きっと敵がこれを妨害しようとしたのでしょう。もしかしたら、これがとても重要なライ
ブになるのかもしれませんが。

ということで、エルサレムよりシャローム！皆様にお伝えできることを嬉しく思います。この24時間以
内に(2017年3月17日)、イスラエルとシリアの間で起こった、大変重要なニュースです。予定時間に
ライブを始められなかったことを、お詫びします。私はてっきりライブ配信しているものと思って、一人
で45分間しゃべっていたのです。それはともかくとして、またお伝えできることをとても嬉しく思っ
ています。今回の出来事をお伝えする前に、一つお話ししておきたい事があるのですが、多くの方から黙示
録12章の「天のしるし」について、お問い合わせがあります。

1 また、巨大なしるしが天に現れた。ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた。

(黙示録 12:1)

皆が9月23日を期待しているのだとか、この日に何か大きな事が起こるのだとか…。ある大手テレビ局
の預言に関する番組で、私もインタビューに答えることになっているのですが、私は、恐らく反対意見と
してバランスを保つために出演するのだと思います。とにかく皆さんに言うておきます。なぜ、私は周り
で起こっていることを伝えるのを好むのかというと、私は、「これが終わりの時のしるしだ」とイエスが
言われたことにこだわりたいからです。私はいつも言っていますが、弟子たちがイエスのところに来て、
「世の終わりには、どのような前兆があるのでしょうか。」(マタイ 24:3)

と言った時、主は、

「空にそのしるしが現れるまで待ちなさい」とか、

「4つのブラッドムーンを見るまで待ちなさい」とか、

「空に何かを見るまで待ちなさい」と言うことも出来ました。

でも、その事には一切触れられなかったのです。

私たちが、確かに世の終わりに生きている、今こそがその時、その季節だ、ということを理解するために、
見るべき事として、主はいくつかの事を挙げられました。今が終わりの時かどうかを見極めるために、私
たちが見るべき事はこれらの事だと言われたのです。だから、私はこれら起こった事をお伝えするたび
にワクワクするのです。それは、私たちの周りで起こっていることで、イエスの言葉が100%成就されて
いくのを見ているからです。皆さんにご理解いただきたいのは、私がこれらのしるしや何かを避ける理
由は、こういった話をする時、多くの場合がその部分だけを全体から取り出して語られているからです。
この黙示録12章のしるしについて語っている人は、多くの場合、理解していないのです。そこには、こ

う書かれています。

1 また、巨大なしるしが天に現れた。

(黙示録 12:1)

まず、「現れた」(過去形)と言っています。「現れる」(未来形)ではなく。

1 また、巨大なしるしが天に現れた。ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた。

2 この女は、みごもっていたが、産みの苦しみと痛みのために、叫び声をあげた。

(黙示録 12:1~2)

これはつまり、イスラエルがメシアを生み出そうとしているところで、当然、2000 年前に起こったことです。それからキリストが生まれ、サタンがいかにして彼の後を追ったか。サタンが直ちに彼に敵対したこと、サタンが直ちに彼とイスラエルを迫害したことにに関して、説明されているのです。だから、覚えていてください。この黙示録 12:1 のしるしは、将来ではなく、過去に起こったしるしです。将来の事は、13 節以降です。皆さんをがっかりさせるつもりはありませんが、皆さんには聖書をしっかり読んでいただきたいのです。それ以上に、季節を理解してください。ですから、イエスが弟子たちから聞かれた時に言われたのは、飢饉、疫病、地震、戦争、戦争のうわさです。国連がつい先ほど発表したのは聞かれませんか？ソマリアとイエメン、スーダンとナイジェリアで大飢饉が起きているとのことで、それも大惨事なのです。わたしは、これこそ伝えるべき事だと思うのです。皆さん、ご存知でしたか？国連の発表を聞かれませんか？3 月末までに 40 億ドルを必要としているのに、たったの 10%も集まっていないのです。ご存知でしたか？地震で見ても、これだけの頻度や規模で起こるのは、地震観測が行われて以来、初めてだそうです。それから、これまで戦争や戦争のうわさが、これほどまでに起こったことがない、と知っていますか？こういった出来事に、私は目を向けるのです。私がいつも周囲を見渡して、イザヤ 17 章やエゼキエル 38, 39 章が、私たち全員にどれだけ近づきつつあるかを見ていることは、皆さんもご存知でしょう。

そしてこれが、私がお伝えしようとしている、この 24 時間以内に起こった事です。事の始まりは、こうです。その前に、この 3 年間の間に、イスラエルがシリアのただ中を 12 回以上攻撃したと報道されています。しかし、これらのどれ一つとして、イスラエルが自分達で行ったと認めたものではありません。また、シリアも、これまでに何かが起こったと承認したことは一度もありません。いいですか？仮にイスラエルが「攻撃した」と言えば、シリアは直ちに出て来て、言うのです。「確かに彼は攻撃した。しかし、我々はすぐに報復攻撃を行う。」しかし、何も言わないのにわざわざ相手に恥をかかせるようなことは言いません。相手も何も言わないし、任務さえ完了し、何も起こらなければそれで良いのです。しかし、昨夜は全く違いました。時刻は午前 2:43。真夜中です。面白かったのが、私はここ数年、あまりよく眠れていなくて、睡眠時間は毎晩 2~3 時間です。でも昨夜は、私はぐっすりと眠っていて、何も聞こえなかったのです。現在、テネシー州のグレイスチャペルの皆さんとエルサレムに滞在中ですが、何日も睡眠不足が続いたので、私は睡眠薬を飲んでぐっすりと眠っていたのです。でも、午前 4 時に目を覚ました時には、私の携帯は警報が鳴りっぱなしで、あちこちの情報源からニュースが届いていました。

ともかく、午前 2:43。ヨルダン渓谷の空襲警報が鳴り響きました。皆さん、イスラエルは、空襲警報とレーダーが全土に行きわたっていて、何かを探知すれば直ちに警報が送られるのです。イスラエルには、レバノンにヒズボラが居り、シリアでもいろいろなことが起こっています。それから、ユダヤ側からは、私たちが恐れるのはヨルダンではなく、その向こうにあるイラクです。もちろん南には、シナイにアルカイダと ISIS がいますし、そしてガザにはハマスがいます。ですから地中海を除いても、イスラエルは周辺全土からロケットが飛んでくる可能性があるのです。だから国全体に厳重に空襲警報システムが敷かれているのです。しかし、誰がヨルダン渓谷でそんなことを想像したでしょう。ガリラヤ湖から死海までがヨルダン渓谷です。そんなところで空襲警報が鳴り響くとは、誰が想像したでしょう。当然、何千人もの住民が夜中に目を覚ましたので、軍事行為を隠したり誤魔化したりすることが出来なくなりました。そこでイスラエルは公に認めました。テルアビブ近くのイスラエル空軍基地より、4 機の F-15 が出動し、シリア北部、レバノンとの国境を移動中の、ヒズボラに渡る予定だった武器を攻撃するところでした。その武器とは、射程距離 700 km、450 マイル以上の弾道ミサイルです。イスラエルはそういった物には容赦しません。たとえレバノン北部からでも、これらのロケットを発射すればイスラエルに届くのですから。イスラエルはじっと黙って見ていませんでした。初日から我々の目標は、シリアで起こっていることに関して、どちらの味方もせず、関わらないでいることです。しかし何であれ、あちらで起こっていることが我々の国を危険に晒すならば、我々は行動に出るのです。先ほども言った通り、過去三年の間に、我々はこのような事を 12 回行ってきました。我々は何も言いませんでした。でも、今回イスラエルがそれを認めただけでなく、他にも異常な事が起こったのです。なぜ、空襲警報が鳴ったのかというと、シリアが初めて、イスラエルの戦闘機が基地に戻ろうとした時に、何発かの対航空機ロケットを発射してきたのです。これは古いロシア製の SA5 です。ロシアでは S200 で知られています。そして、どうやら何かが標的を外して、そのうちの一つがはるばるイスラエルまで飛んで来て、もう少しで当たるというところで、イスラエルのレーダーがそれを探知し、直ちにアローミサイルを発射したのです。これは初めての事です。そしてミサイルが SA5 に命中し、空中で破壊され、その破片がヨルダンとイスラエルの両側に落下したのです。それで今は、イスラエル市民が事の次第を知っただけでなく、ヨルダン人も何が起こったのかを知っています。なぜかと言えば、ヨルダン砂漠近くのイヤビドと呼ばれる場所のど真ん中に落下したことを、ヨルダンのメディアが報道したからです。面白いのが、何かが起こったとヨルダンが報道し、イスラエル市民も何かが起こったことは知っています。そしてイスラエルも、公に何かが起こった事を認めました。それからシリアも数時間前に公に何かが起こったことを認めました。シリア人はファンタジーの中に住んでおられるので、彼らは「シリアのロケットがイスラエルの飛行機を撃墜して、飛行機がイスラエル領土に墜落、ダメージを与えた」と言いましたが、そんなことは一切起こっていません。4 機とも無事に帰って来て、全員がイスラエルに着陸しました。

しかし皆さん、10 分ほど前に在露イスラエル大使がモスクワの外務省に呼ばれ、イスラエルの攻撃について説明を求められています。分かりますか？よく聞いてください。イスラエルは運搬中の武器を攻撃しました。それらは我々に向けて使われるのです。すると、在モスクワのイスラエル大使が呼び出され、説明を求められるのです。これを、ロシアが中東を牛耳っていると言わずして何と云うのでしょうか。皆さん、理解しなくてははいけません。ロシアはシリアで中東を牛耳っているだけではなく、恐らくイスラエル

が攻撃したという事実が気に入らず、シリアにこのロケットを発射することを許可したのでしょうか。私の今の気分を、言葉にすることも出来ません。これまでずっと、ロシアが将来的にイスラエルに侵略して来るということは話してきましたが、何もない所にある日突然侵略してきたりはしないのです。まず、緊張が高まるのです。背後で何かが起こり、何らかの歴史が必要なのです。そして、今起きていることは「歴史が創られた」ということです。いずれ、ロシア側の忍耐が切れる、その準備が整い始めているのです。間違っただけではありません。ロシアは原油やガスの事になると、自分達の利益に従って、ステップを計算しているのです。ところで、あちらのシリアだけでなく、ここ数日の間に報道されているのは、恐らく私もアプリでお伝えしたと思いますが、もしアプリをまだダウンロードされていないなら、どうかダウンロードしてください。今から言うておきますが、Facebook はもうそろそろ使えなくなるでしょう。間違いなく、私はいずれ、ここの使用を禁止されます。たぶん You Tube も同様です。ですから、アプリをダウンロードし、Eメールをご登録ください。恐らくそれが唯一、私が皆さんにお伝えできるツールとなるでしょうから。

ではご説明します。「ロシア兵がシリアとリビアの国境で目撃されている」と、私は数日前にお伝えしました。リビアはエゼキエル 38 章に出てきます。リビアはプテとして書かれています (エゼキエル 38:5)。聖書は、こちら側のロシア、トルコ、イランについて伝えていますが、アフリカ側のスーダンとリビアについても伝えてあります。おかしなことに、アフリカではこの 2 国だけがアメリカへの渡航を禁止されています。トランプ大統領の計画では、あの地域からの移民が一切禁止されているのです。アフリカでは、リビアとスーダン、この 2 国がイスラエルの存在を認めず、何としてでもイスラエルを破滅させようとしているのです。説明しましょう。2 日前、ギャングがリビアの 200 km に渡る地域を占領しました。そこは全ての石油施設があるのです。この事から、ロシアがなぜそこに移動を始め、なぜ戦闘準備を始めたのか、なぜ物をそこに移動し始めたのか説明がつくようです。ロシア外務省は何か月も前に、そこに安定した政府を設置したいと言っていたのです。「安定した」とはつまり、「俺たちにそこを支配させろ」ということです。まさにこれが、ロシアが現在その前線にもいると、私が信じる理由です。エジプトは、そこにロシアはいないと言っています。ロシアも、自分たちはそこにいないと言っています。しかし、現地の人たちが、ロシア兵がエジプトの地にいると報告しているのです。今の時代、誰にも否定できません。そこからじゅうで人々が写真やビデオを撮影して、投稿しているのですから。このソーシャルメディアの時代、それはとても簡単です。

ということで、皆さん。リビアです。リビアは今ではロシアが関わっています。リビアも大混乱しています。もちろん、ISIS もそこにいて、物議を醸しだしています。シルトと言う町から ISIS がなくなったと報道されていますが、ISIS は未だにそこに残っています。そして恐らくヨーロッパが最も恐れているのは、リビアが今後も自分達の領土から難民を送り続ける事。アフリカから地中海を渡ってイタリアへ上陸し、そこから西ヨーロッパに入ってくるのです。皆さん、イタリアのマフィアはリビアのリベラルと手を組んで、何百万ドルと稼いでいるのですよ。ジョージ・ソロスの資金提供を受けている人権団体たちは、地中海から救い出した頭数に応じてお金を支払っているのです。ということで、全ての事に膨大なお金が絡んでいるのです。皆、それにあやかりたいのです。ロシアは石油を支配するために介入しています。そして、この難民をヨーロッパに送り込む「産業」によってお金が動いているのが、皆さんにも見え

て来たと思います。ヨーロッパは難民で溢れかえっており、そのことでヨーロッパの政府は揺さぶられています。ちなみに、それによってヨーロッパ人自体が右翼で反移民政党を支持し始め、ヨーロッパの内側が移行しつつあります。もちろん、これらの政党は、政府になるほどの力はありませんが、見込みのある政府を牛耳るだけの力を持っています。ちょうどオランダやフランス、その他のように。ドイツでも同様です。

皆さん、この 24 時間の間に起こったことは他にもあります。その一つにエルドアン大統領が、今日、数時間前に首都アンカラで選挙集会を開きました。そこで、ヨーロッパ在住の全トルコ人に「赤ん坊を世に送り込むように」と命じました。さらには「5 人以上の子どもを」と言ったのです。「それによって、ヨーロッパを乗っ取るのだ」と。「少なくとも 5 人の子どもをもたらさなくてはならない」どんどん人を増やして人数で勝てば、人口統計上、ヨーロッパを乗っ取るための武器になるということを、彼は理解しているのです。そして彼は、基本的に二つの武器を持っています。

① 西ヨーロッパに住むトルコ女性たちの胎、

② 彼が門を開いて、西ヨーロッパに流出させることのできるすべての難民です。

それによって、ヨーロッパに多大な不安がもたらされます。そして、エゼキエル 38 章（戦争）の最中、イスラエルの山でトルコが恥をかき、さらに言うなら屈辱を受ける時、ヨーロッパ人は「もうたくさんだ！」と言うようになる。

「イスラムはもういらない！」

「あらゆる宗教を廃止しよう！」

と。今現在、ヨーロッパ人はイスラムが広がるのを阻止しようと戦っていますが、それは出来ません。なぜでしょう？それは、ある特定の宗教と戦うことは、憲法に違反することであり、民主的ではないからです。ですから今、ヨーロッパが行っているのは基本的に

「特定の宗教と戦えないのなら、全ての宗教と戦おう！」

「全て宗教のアイデンティティとなるものを、ヨーロッパから排除しよう！」

ということです。

「ユダヤ人がヤムカを被るのを禁じよう」

「イスラム教徒がブルカ（ヒジャブ）を被るのを禁じよう」

「クリスチャンが公の場で彼らの信仰を表明するのを禁じよう」

「そうすれば、もしかしたら我々はイスラムに勝てるかもしれない」と。しかし同時に、最終的に行きつく先は、ローマ法王がこの数年推し進めてきた事そのものです。

「良い行い」の宗教。

「特定の宗教に属する必要はありません」

「ただ良い行いをして、良い人であれば良いのです」

「それが大切なのですから」

ヨーロッパ人はそれを両手で掴み、自分達の中に取り込むのです。

「それが唯一拡散し、乗っ取ろうとするイスラムと戦う道だ！」と。このように、一方ではエルドアンが難民を流出させるぞと言ってヨーロッパを脅し、もう一方ではヨーロッパ人が、何としてでも彼らと必死で戦おうとしているのです。

ダマスカスは、私がずっと言い続けて来たので、皆さんもご存じの通り。ダマスカスは破滅します。市の3分の2は既に破壊されていますが、皆さんが恐らくご存じないのは、ダマスカスではとんでもないスンニ派、シーア派の問題が起こっているということです。1,700万人のスンニ派が、数百万人のシーア派によって斬首され、虐殺され、滅ぼされないように自爆テロを行っています。二日前、連続爆破事件が起こり、膨大な数のシーア派が殺害されました。その二日前には、一回の大爆発でシーア派が100人犠牲になりました。ダマスカスで、です。これらのことから言えるのは、確かにイスラエルもいずれダマスカスを攻撃し、完全に破壊します。しかし、シリア人自身の方が我々よりもずっと才能も力もあって、彼らはすでにそれを行っているのです。そこを理解しておかなくてはなりません。

ということで、シリアについて、リビアについて、それからロシアについてもお話ししました。皆さんご存じないでしょうが、ロシアは昨日、アレッポの西側にあるモスクを爆破しました。その爆撃によってモスクは崩壊し、少なくとも35人の遺体が発見されています。さらに何十人という人が、未だに瓦礫の中に埋まっています。国連人権理事会はロシアを叱責しましたか？国連安保理はロシアを叱責しましたか？世界のリベラルのうち、誰かロシアを叱責した人はいるでしょうか？誰もしていないと思います。面白いですね。もし、イスラエルが同じことをしていたら、今の時点で国連安保理、人権理事会、その他、国際的ボイコット等、5万件の叱責が押し寄せていたことでしょう。でも、やったのはロシアです。そして、ロシアが牛耳っているのです。それは熊であり、巨人であり、現在、誰も彼らに関わりたくないのです。

ここで明確にしておきたいと思います。イスラエルとシリアの戦争は、昨夜すでに開始されました。中東では事態が激化しています。シリアはロシアの後ろ盾を得て、以前にも増して自信に満ち溢れています。ロシアはイスラエルに説明を求めています。またしてもイスラエルは自分達の防衛をするにも、世界の承認が必要なのです。私たちはまた振り出しに戻りました。それは、中東を牛耳っているのがもはやアメリカではなく、ロシアになったからです。そして、イスラエルはもはや、誰も気にも留めない小国ではなく、燃料大国であり、それはまさにロシアが狙っているものなのです。ロシアがイスラエルに攻め込む理由も、ロシアが手を組んでイスラエルを攻め込む国々も、エゼキエルが描写した全ての事が整ってきています。

後は、私たちに残されていることは、ただ、頭を上上げるだけです。私たちの贖いが近づいたからです（ルカ 21:28）。これら全ての事を目撃して、私は恐れません。恐れるよりもむしろ、ワクワクしています。なぜなら、既に言ったように、聖書預言は恐れさせるためにあるものではなく、備えさせるためにあるのですから。聖書預言とは、神の御言葉です。神の御言葉の三分の一が預言です。つまり、私たちは御言葉の中にとどまり、御言葉を知って、備えをしなければなりません。そして、ここを去るのです。残念ながら、人々は自らの選択で、ここ2年ほどの間に聖書預言はトレンド(流行)となりました。時々私は自分が「聖書預言教師」という集団の一員のように思われるのが恥ずかしく、嫌になることがあります。インターネットで目にする、彼らの教義のレベルがあまりにもセンセーショナルに伝えるだけであったり、部分的に取り出して解釈していたり、他の人たちをひどく混乱させています。全てがお金や名声、著書を

売りつけることが目的であって、大げさな見出しをつけて、本当に恥ずかしいことです。情けなくなります。だから私は時々、止めてしまいたくなるのです。こういったことに巻き込まれたくない、と。でも、パソコンを開けると、たくさんのEメールに励まされ、また頑張ろうと思うのです。

私が言いたいのは、どうか聖書に留まってください。神はその御言葉を、御名の上に高く上げられたのです。そして敵は、いつも神の子どもたちを混乱させようとしています。神の御言葉によれば、残念ながらほとんどの偽教師というのは、教会の内側から、神の人々の中から出てくるのです。とにかく、神の御言葉の中に留まってください。そして、御言葉の中に浸ったら、御言葉と聖霊によって、あなたの内側から洗い流してもらいます。そうしてあなた自身を備えるのです。一旦、あなたに備えが出来たなら、あなたも御父の業に励むことが出来るようになり、他の人が備えをする助けが出来ようになるのです。あなた自身が出来ていない事、本当に信じて行っていないことを人に説くのは、容易な事ではありません。時は近いと思います。私は9月23日天にしるしが現れるのを待ったりしません。それ以外に物事が起こり始めているのが見えるからです。すでにロシアはシリア入りし、誰も何も言いません。すでにトルコもイランもシリア入りしていますが、誰も何も言いません。ロシアはリビアとスーダンで議論を巻き起こしていますが、誰も何も言いません。そして世は、まるで何も起こっていないかのように振る舞っています。だれも叱責しなければ、誰も何も問わない、皆当たり前のようになっているのです。舞台は整っています。緊張は既に高まっていて、やがてロシアがイスラエルに攻め込む口実となる歴史は、すでに記録されています。皆さんに言っておきたいのは、これら全ては物凄い、かなりすごい事です。

次に、良いお知らせをしたいと思います。今日、イスラエルアンヴェールド Vol. 2 の発売を開始しました。イスラエルアンヴェールド Vol. 1 では、異なる 11 か所の 40 の角度から聖書を教えましたが、今回の新しい DVD では、4 か所でさらに長時間聖書を教えています。ヨッパ、エラの谷、紅海、そして幕屋があった砂漠です。オンラインからご購入いただけます。ホームページ Behold Israel.org から、またアプリからもご注文ください。皆さんの祝福となる事と思います。皆さんご存知だと思いますが、2 週間に 1 度、You Tube で Vol. 1 を配信していますので、いずれこれも無料でご覧いただけるようになります。もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、2018 年のツアー日程を来週公開します。たぶん、私たちはもうここにいないでしょうが、もしいたとしたら皆さんにイスラエルを、イスラエル国境を見ていただきたいのです。聖書預言に書かれている全ての事について語り、私が引率するツアーでは毎日聖書を開いて、現地でバイブルスタディを行います。各ツアーの定員は、バス一台分限定です。11 月に予定されている Pastor JD とのツアーは別ですが、参加ご希望の方は先着順ですので、どうぞ、info@beholdisrael.org までご連絡ください。それから、ご自分の国で Behold Israel のコーディネーターをしたいと思われる方、つまり、私たちのメッセージをあなたの地域や国で広めたいと思われる方は、どうぞご連絡ください。これをされている方々にお会いしてみたいですし、これらのコーディネーターの方々がそれぞれの国で、コミュニティーや教会を準備して下さることによって、私ももっと容易に各国を訪問できるようになりますから。そしていずれは、コーディネーターの方々をイスラエルにお招きして、イスラエルをご覧いただき、Behold Israel をご覧になって、私たちの目指しているものをご理解いただきたいと思っています。ですから、ご自分の国で Behold Israel のコーディネーターをしたいと思われる方は、info@beholdisrael.org までご連絡ください。喜んで検討したいと思います。

ということで、夜も遅くなりました。もうすぐ10時です。これは2回目なのです。覚えていますか？(笑)
とにかく、全てをお伝えできてよかったです。どれもが歴史的瞬間で、前代未聞の時代です。目を天に向け、贖いを待ち望んでください。近づいていますから。常に主に近づき、常に御言葉の側に近づいてください。御言葉の中に留まるのです。そして、御父の業に励みましょう。この終わりの時、神は私たち全員が御父の業に勤しんでいることを望んでおられます。

エルサレムより皆さんへ、I love you very much!!!

皆さんのコメントをたくさん読みました。私のアシスタントが全てを読んでくれています。そして、皆さんの質問には出来る限り全てにお答えしたいと思っています。中には質問ではなく、ご自分の意見を書かれている方もいらっしゃいますし、それも結構です。全員に愛されない事も分かっていますし、全員に喜んでもらえるとも思っていません。それでも私は、神の御言葉に留まります。そして、人々にも同じ様にそうするよう、勧めつづけます。

Thank you!

God bless you!

Shalom from the city of Great King, Jerusalem!

I love you!

God bless you!

Shalom!

今は金曜日の夜ですから、シャバット・シャロームですね。

Shabat Shalom!

God bless you!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO